

令和6年度大学コンソーシアムやまがた第2回幹事会議事録

日 時：令和6年6月17日（月）14：30～15：00

場 所：山形大学法人本部第一会議室及びZoom使用によるWeb会議

出席者：

委員長（旧） 出 口 毅（山形大学）  
委員長（新） 大 森 桂（山形大学）  
副委員長 若 林 宏（東北芸術工科大学）  
大 桃 伸 一（東北文教大学・東北文教大学短期大学部）  
熊 谷 岳 郎（山形県立保健医療大学）  
渡 辺 博 幸（山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学）  
委 員 内 山 潔（鶴岡工業高等専門学校）  
小 関 俊 宏（電動モビリティシステム専門職大学）  
三 木 潤 一（東北公益文科大学）  
田 村 裕（東北農林専門職大学附属大学校）  
五十嵐 裕 彦（事業評価委員会委員長/山形県）  
代理：鈴木爽夏（（山形県総務部高等教育政策・学事文書課  
高等教育政策担当主事）

欠席者： 佐々木 紀 子（山形県立産業技術短期大学校）  
栗 山 恭 直（企画会議委員長/山形大学）  
高 桑 秀 郎（羽陽学園短期大学）  
齋 藤 真 幸（放送大学山形学習センター）  
古 瀬 隆 志（山形県）  
佐 藤 圭 次（山形県立産業技術短期大学校庄内校）  
小 幡 知 之（山形工科短期大学校）

陪席者： 柿 崎 悦 子（山形大学ダイバーシティ推進室准教授）  
東海林 守 一（山形大学総務部長）  
樋 口 浩 朗（山形大学総務部長付上席専門員兼社会共創推進事務室長）  
石 澤 慎太郎（山形大学総務部総務課社会共創推進事務室係長）

事務局： 今 野 浩 美、羽 角 扶 美

会議に先立ち、事務局から幹事会成立の報告があった。

次いで、出口委員長から今年度新たに委員になった2名（田村委員、大森委員）の紹介があった。

[協議事項]

1 委員長等の選任について

出口委員長から、委員長等に関する会則の規定について説明の後、始めに委員長を選任したいので推薦願いたい旨述べられたが推薦はなく、委員長案として、慣例により山形大学の大森委員にお願いしたい旨の提案があり、承認された。

大森委員長に議長交代

大森委員長から、あいさつに引き続き、副委員長の選任について、これまで担当いただいた機関の方々に担当願うこととしたい旨の委員長案が提示され、次のとおり承認された。

副委員長 若林 宏（東北芸術工科大学）  
大桃 伸一（東北文教大学・東北文教大学短期大学部）  
熊谷 岳郎（山形県立保健医療大学）  
渡辺 博幸（山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学）

#### [報告事項]

##### 1 令和5年度事業報告（案）について

事務局から、令和5年度事業報告（案）について、資料4に基づき報告があった。

#### [協議事項]

##### 2 令和5年度収支決算（案）について

事務局から、令和5年度事業報告（案）について、資料2について以下のような説明があった。

（収入について）

- ・ 預金利息について5円を減額補正した。

（支出について）

- ・ 「地域貢献・活性化事業」については、やまがた夜話のチラシ発送料支出等により、10,116円の増額補正となった。
- ・ 「連携事業」については、単位互換のチラシの作成部数減等により、11,640円の減額補正となった。
- ・ 「広報事業」については、やまがた夜話のチラシ発送費用の支出を見込んでいたが、「地域貢献・活性化事業」からの支出としたため、10,000円の減額補正となった。
- ・ 「大学コンソーシアムやまがた運営費」については、プリンターのトナー等の購入により、56,814円の増額補正となった。

以上、収入決算額5,717,828円から支出決算額の3,980,887円を差引いた1,736,941円が、令和6年度への繰越額となる。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

##### 3 監査報告について

事務局から、令和5年度の会計監査について、5月22日に米沢栄養大学長の阿部監事、6月4日に山形県総務部長の岡本林監事から監査をしていただき、定期総会において監事から資料4に基づき報告願う予定である旨の説明があった。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

##### 4 東北農林専門職大学からの入会及び単位互換協定への加入について

事務局から、以下のような説明があった。

令和6年4月に開学した東北農林専門職大学から、資料4のとおり本会加入申込書の提出があり、東北農林専門職大学附属大学校とは別の機関として入会を希望している。なお、同大の入学定員は40名で、単位互換協定への加入も希望している。コンソーシアムへの加入について

は、やまぶらの役員会でも報告し、同大へは、やまぶらの加入についても報告する。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

#### 5 令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）及び機関負担金について

事務局から、令和6年度事業計画（案）については、新たに策定した「第4期事業計画」に基づき事業を展開する旨、資料5に基づき説明があった。

引き続き事務局から、収支予算（案）について、以下のような説明があった。

（収入について）

- ・ 資料6-1の収支予算書（案）の機関負担金（会費）収入については、昨年6月に開催の定期総会において資料6（参考）のとおり承認されているが、令和5年度からの繰越金が1,736,941円となるため、資料6-2のとおり、機関負担金を減額する修正案を作成した。
- ・ 減額については、機関負担金の負担金対象者数1名あたりの単価を211.5円から170円に引き下げることにし、併せて、収容定員の変更を反映、東北農林専門職大学を追加し、446,367円減の4,054,760円となる。
- ・ 機関負担金収入、繰越金及び雑収入29円を見込んだ合計5,791,730円を収入予算額とする。

（支出について）

- ・ 支出について、事業毎の予算は、令和5年度の当初予算を基に計上している。
- ・ 新規事業の「共同教育事業」は、ニーズ調査等の経費として50,000円、やまぶら初期戦略に貢献する事業については、300,000円を計上している。

収入予算5,791,730円から支出見込額4,755,000円引いた1,036,730円を予備費とした。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。

- ◎ 昨年度の決算を見ると繰越金が2,000,000円程度で今年は1,000,000円程度であり、減っているが何か案はあるのか。
- 繰越金が多ければ、機関負担金を減額している。繰越金については、基本的に1,000,000円程度を想定している。
- ◎ 予算案でゆうキャンパスのパンフレット作成経費として200,000円を計上しているが、作成部数はどの程度を予定しているのか。また、どの程度残部があるのか。
- 前年度と同様4,600部の作成を検討している。残部は300部程である。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

#### 6 令和7年度機関負担金（会費）（案）について

事務局から、資料7に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 例年、来年度予算の要求に必要な機関等もあり、この時期に翌年度の負担金を示している。
- ・ 昨年度の総会において確認いただいた令和6年度負担金を基に、令和6年度の収容定員で計算している。
- ・ 電動モビリティシステム専門職大学、東北農林専門職大学については、新設した機関への配慮として、完成年度までは、入会時の負担額とするよう提案している。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

[その他]

- 1 その他  
特になし。

【配付資料】

資料

番号なし

- ・幹事会名簿
- ・会則

資料1

令和5年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書

資料2

令和5年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書（案）

資料3

監事監査に関する資料

資料4

大学コンソーシアムやまがた及び同単位互換協定への加入について

資料5

令和6年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書（案）

資料6-1

令和6年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）

資料6-2

令和6年度 機関負担金（会費）（修正案）

資料6（参考）

令和6年度 機関負担金（会費）（令和5年度定期総会承認）

資料7

令和7年度 機関負担金（会費）（案）

議事録署名人

幹事会委員長／山形大学副学長

大森 桂